

令和 7 年度 年間学習指導計画及び評価規準

学年	1 年	学科	商業科	類型	
教科	国語	科目	現代の国語	単位	2
				必修 選択	必修
使用教科書	「現代の国語」 (数研出版)		補助教材等	プレミアムカラー国語便覧 (数研出版) 準拠ワーク (数研出版) 常用漢字ワーク (尚文出版)	
科目の目標	(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
観点別評価	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	重点	◎	○	○	
	評価規準	実社会に必要な国語の知識や技能を身につけている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	
期間	学習指導計画 (学習内容とそのねらい)			観点別評価	
				観点	評価の手段
第 1 学期 中間 考查 まで	<ul style="list-style-type: none"> ○「論理的」ということ」 ・論理性とはどういうことか、なぜ論理が必要とされるのかについて、筆者の主張を理解する。 ・筆者の主張を理解し、論理的ではないコミュニケーションの具体的例を挙げ、論理的に言い換える。 評論の読み方 <対比の構造> ○「水の東西」 ・「水」を巡る日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特質について理解を深める。 ・対比の構造に着目し読み進めることで、評論の読み方を知る。 【ズームアップ】文化 <実用の文章> ○コミュニケーションの手段を考える ・非言語コミュニケーションの要素や特徴を理解し、具体的事例を挙げる。 ・コミュニケーションのあり方についてクラスで考え、話し合う。 	知識 技能	思考 判断 表現	定期考査等	課題やレポート
				定期考査等	課題やレポート
				主体的に 学習に 取り組む 態度	授業での活動 振り返りシート等
第 1 学期 期末 考查 まで	<ul style="list-style-type: none"> <対比の構造> ○「攻撃」と「共存」 ・対比の構造に注意をして、筆者の主張を理解する。 ・筆者の考える現代社会の問題を理解した上で、「現代という時代」について、自分自身の問題として考察し、論拠とともに考えを述べる。 <一般論と主張> ○「ポスト・プライバシー」 ・筆者が論じる「アイデンティティ」のあり方の変容を理解する。 ・筆者の論を踏まえた上で、今日の社会が向かっている方向性について考える。 【ズームアップ】情報とメディア <実用の文章> ○目的に合わせて表現を工夫する ・条例の本文とそれに基づくパンフレットのそれぞれの文体や表現上の特徴を理解する。 ・条例の前文をわかりやすく周知するためのパンフレットを作成し、相互批評する。 	知識 ・ 技能	思考 判断 表現	定期考査等	課題やレポート
				定期考査等	課題やレポート
				主体的に 学習に 取り組む 態度	授業での活動 作品や課題
第 1 学期	観点別 評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	評価規準	◎	○	○	
		・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 ・推論の仕方を理解し使っている。	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。	・文章の論理展開を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って具体的に考えようとしている。 ・筆者の意見を踏まえた事例について粘り強く考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	

期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）			観点別評価	
				観点	評価の手段
第2学期 中間 期末 考査まで	<論理とレトリック> ○「コインは円形か」 ・筆者が述べるレトリックの意味を理解する。 ・「レトリック感覚」が必要とされる理由を考え、説明する。 <具体と抽象> ○「ものごとば」 ・筆者が論じる「もの」と「ことば」の関係を的確に理解する。 ・筆者の主張を踏まえ、「ことば」についての自分の考えを深める。 【ズームアップ】どこにも蝶などいない <実用の文章> ○資料を分析して考えをまとめる ・資料の読み取りや分析の仕方を理解する。 ・分析内容から得られた自分の考えを他者が理解できるよう適切にまとめる。	知識 技能	定期考査等 課題やレポート		
		思考 判断 表現	定期考査等 課題やレポート		
		主体的に 学習に取り 組む態度	授業での活動 振り返りシート等		
第2学期 期末 考査まで	<具体と抽象> ○「人と自然の共生とはどういうことか」 ・筆者の主張する「文化的共生」について理解する。 ・「人と自然の共生」とはどういうことかを考え、自分たちはどうあるべきかを考える。 【ズームアップ】環境問題のこれから <比較する> ○「政治的思考」 ・「政治的思考」において大切なことを的確に理解する。 ・「民主政治」の特徴を「独裁政治」と比較しながら的確に理解し、自分の考えを深める。 <実用の文章> ○根拠の妥当性を説明する ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫する。	知識 ・ 技能	定期考査等 課題やレポート		
		思考 判断 表現	定期考査等 課題やレポート		
		主体的に 学習に取り 組む態度	授業での活動 振り返りシート等		
第2学期	観点別 評価	知識・技能 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評価 規 準	・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。	・目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 ・目的や意図に応じて、実社会から適切に題材を決め、情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。	・筆者の意見を踏まえた具体的事例を粘り強く分析し、学習課題に沿って自分の考えを深めようとしている。 ・筆者の意見や参考資料をもとに実社会の問題について積極的に考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	
学年 末 考査 まで	<視野を広げる> ○「他者を理解すること」 ・筆者の考える「理解すること」の内容について正しく読み取る。 ・他者の理解において大切なことは何かを理解する。 【ズームアップ】自己と他者の理解とは <思考を深める> ○「時間と自由の関係について」 ・時間と自由の関係についての筆者の主張を的確に読み取り、要約する。 ・筆者の論を踏まえ、現代社会の問題点について考える。 【ズームアップ】近代と時間との関係 <実用の文章> ○文章の構成を工夫して提案する ・提示されている条件や情報を読み取り、話し合う。 ・読み取った内容をもとに企画書を書き、相互評価をもとに遂行する。 ○課題を発見し解決策を発表する ・課題全文の内容を把握し、的確に要約する。 ・課題に関する自分のテーマを設定し、問題点や解決方法を考え、発表する。	知識 技能	定期考査等 課題やレポート		
		思考 判断 表現	定期考査等 課題やレポート		
		主体的に 学習に取り 組む態度	定期考査等 課題やレポート		
第3学期	観点別 評価	知識・技能 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評価 規 準	・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・目的や場に応じて、実社会から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。	・論理展開を押さえながら筆者の述べている内容を粘り強く読み解き、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。 ・課題資料が示す内容と身の回りの問題を積極的に関連付け、学習課題に沿って適切な解決策を考えようとしている。	

※「◎」特に重視する観点

令和 7 年度 年間学習指導計画及び評価規準

学年	1 年	学科	商業科	類型			
教科	国語	科目	言語文化	単位	2	必修 選択	必修
使用教科書	「高等学校言語文化」 (数研出版)		補助教材等	「高等学校言語文化 準拠ワーク」 (数研出版) 「基礎から学ぶ解析古典文法」 (桐原書店) 「漢文必携」 (桐原書店)			
科目の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深め、その担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。						
観点別評価	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
	重点	◎	○	○			
	評価規準	・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語の決まりや訓読の決まり、古典特有の表現について理解している。	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えながら、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ・作人の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持っている。	・進んで古典特有の決まりや表現について理解し、見通しを持って、古典を学ぶ意味について考えを持とうとしている。 ・進んで自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、学習課題に沿って、登場人物の心情の変化を読み取り、主題について考えようとしている。			
期間	学習指導計画 (学習内容とそのねらい)			観点別評価			
				観 点	評価の手段		
第 1 学期 中間 考查 まで	〈古文〉 ・「児のそら寝」 (宇治拾遺物語) 古文を学ぶ者としての常識を押さえつつ、読解の基礎を学ぶ。 ・「検非違使忠明」 (宇治拾遺物語) 動作主の推察を行い、助動詞「けり」や「已然形+ば」の接続の仕方や訳し方などを理解する。	知識 技能	思考 判断 表現	主体的に 学習に取 組む態度	定期考查等	課題やノート	
					小テスト等		
					定期考查等	授業での活動	
第 1 学期 期末 考查 まで	〈漢文〉 ・訓読の基礎 訓点を施された漢文を書き下し、漢文訓読の基礎力を養う。 ・再読文字、助字、置き字 再読文字や助字、置き字の特性を理解し、適切に訓読できる知識と技能を身に付ける。 ・「漁夫之利」 (戦国策) 否定の句法を押さえながら、本文の展開の面白さを味わう。 〈古文〉 ・「ある人、弓射ることを習ふに」 (徒然草) 助動詞「む」「べし」に留意し、自戒を含む展開を味わう。	知識 ・ 技能	思考 判断 表現	主体的に 学習に取 組む態度	定期考查等	課題やノート	
					小テスト等		
					定期考查等	授業での活動	
第 1 学期	観点別 評価	知識・技能 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○	定期考查等	課題やノート	
					小テスト等	授業での活動	
					定期考查等	授業での活動	
評価規準	・古文と現代文との違いを知り、古文を読む基礎となる文語の決まりを理解できているか。 ・訓読の決まりを理解し、文章の内容を的確に読み取っているか。	・随筆や物語などの文章の種類を踏まえて、叙述内容を的確に捉えているか。 ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めているか。	・和歌や随筆、格言や故事成語に触れ、古文や漢文の世界に進んで親しもうとしているか。				

期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）			観点別評価	
				観 点	評価の手段
第2学期 中間 考查まで	〈古典から現代へ〉 ・「羅生門」 極限状態にある人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取る。 〈漢文〉 ・否定、疑問、反語の句法 漢文特有の否定、疑問、反語の句法を学び、読解する力を養う。 ・「管鮑之交」（十八史略） 交友を扱った本文を通して故事成語のもとになった逸話を学ぶ。 〈古文〉 ・「ありがたきもの」（枕草子） 類聚的章段を読み、お題と列挙の構造を把握して内容を理解する。 ・助詞			知識・技能	定期考査等
					課題やノート
				小テスト等	
思考判断表現	定期考査等				
	授業での活動				
振り返りシート等					
主体的に学習に取り組む態度	課題やノート				
	授業での活動				
	振り返りシート等				
第2学期 期末 考查まで	〈漢文〉 ・漢詩の形式 近体詩の種類と特徴を理解し、押印や対句などの事項を押さえる。 ・「静夜思」李白 ・「月夜」杜甫 唐代を代表する詩人の詩を、漢詩特有の修辞法を押さえつつ、情景を思い浮かべながら味わう。 〈古文〉 ・「祇園精舎」（平家物語） 和漢混交文の文体を味わいながら読み進める。			知識・技能	定期考査等
					課題やノート
				小テスト等	
思考判断表現	定期考査等				
	授業での活動				
振り返りシート等					
主体的に学習に取り組む態度	課題やノート				
	授業での活動				
	振り返りシート等				
第2学期	観点別評価	知識・技能 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評価規準	・漢文の基本的な句法を理解し、その知識を活用して書き下しや現代語訳ができていたか。 ・漢詩の詩形や押韻、対句などについて理解できていたか。 ・文中にある文語助動詞などを判別し、辞書などを手がかりに適切に現代語訳できたか。	・漢詩の対句や押韻といった表現上の特徴を踏まえて作品を味わい、情景を思い描くことができたか。	・歴史物語の時代背景や、和漢混交文の音の響きを踏まえて作品を味わおうとしたか。	
学年末 考查まで	〈漢文〉 ・論語 孔子の言行録に触れ、東アジアの思想・文化に大きな影響力をあたえた文章を漢文で味わう。 〈古文〉 ・「漂泊の思ひ」（おくのほそ道） 松尾芭蕉の俳諧紀行を読み、不易流行の思想や表現の奥深さに触れる。			知識・技能	定期考査等
					課題やノート
				小テスト等	
思考判断表現	定期考査等				
	授業での活動				
振り返りシート等					
主体的に学習に取り組む態度	課題やノート				
	授業での活動				
	振り返りシート等				
第3学期	観点別評価	知識・技能 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評価規準	・日本を代表する俳人の紀行文を知り、その道程や作品について理解することができたか。 ・古代中国の思想の種類とその概要について理解を深めることができたか。	・構成に注目しながら作品に込められた思いを読み取り、作者が旅をどのようなものと捉えているかを解釈できたか。 ・古代中国の思想を踏まえ、自分のものの見方、考え方を豊かにできたか。	・日本各地の歌枕について興味をもち、芭蕉が訪ね歩いた風景を思い描こうとしたか。 ・古代中国の思想を自分や現代日本の道徳観などに結び付けて解釈しようとしたか。	

※「◎」特に重視する観点

令和 7 年度 年間学習指導計画及び評価規準

学年	1 年	学科	商業科	類型				
教科	地理歴史	科目	歴史総合		単位	2	必修 選択	必修
使用教科書	詳述歴史総合（実教出版）		補助教材等	詳述歴史総合マイノート （実教出版） 明解歴史総合図説シンフォニア （帝国書院）				
科目の目標	○世界とそこにおける日本を、広く相互的な視野でとらえることができる。 ○資料を活用しながら、歴史の学び方や基礎的な概念を習得することができる。 ○現代的な諸課題の形成にかかわる近現代の歴史を考察し、表現することができる。							
観点別評価	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	重点	◎		○		○		
	評価規準	世界とそこにおける日本を、相互的な視点から幅広く理解し、また諸資料から情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付けている。		近代以降の日本と世界について、時期や推移を比較し、現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、解決を視野に入れて構想したりする力や、それを効果的に説明したり議論したりする力を身に付けている。		近代以降の日本と世界について、多面的・多角的な考察や深い理解を通して世界の中で生きる日本人としての自覚を持つとともに、他国の文化を尊重することの大切さを認め、課題を主体的に探究しようとしている。		
期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）				観点別評価			
					観 点	評価の手段		
第 1 学期中間考査まで	第 1 章 近代化への胎動 ・18世紀のアジア諸国とヨーロッパ諸国の経済が互いに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 第 2 章 欧米の市民革命と国民国家の形成 ・産業革命や国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、欧米諸国の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現させる。	知識 技能	定期考査等	課題やレポート	授業での活動			
			思考 判断 表現	定期考査等	課題やレポート	授業での活動	振り返りシート等	
				主体的に 学習に取り 組む態度	課題やレポート	授業での活動	振り返りシート等	
第 1 学期期末考査まで	第 3 章 アジアの変容と日本の近代化 ・日本の開国、明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向などと関連づけて、立憲体制と国民国家の形成を理解させる。 ・産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現させる。	知識 ・ 技能		定期考査等	課題やレポート	授業での活動		
			思考 判断 表現	定期考査等	課題やレポート	授業での活動	振り返りシート等	
				主体的に 学習に取り 組む態度	課題やレポート	授業での活動	振り返りシート等	
観点別 評価	知識・技能			思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
		◎		○		○		
第 1 学期	評価規準	・近代の日本と世界について、歴史的環境と文化の形成などその特色を理解している。 ・適切な史料を基に情報を読み取る技能を身に付けている。		・産業革命や国民国家の形成といった国際関係の変化、社会の変化などに着目して、近代社会の特質について多面的・多角的に考察している。		・近代の日本と世界について、主体的にかつ他者と協働しながら、多面的・多角的に考察しようとしている。		

期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）			観点別評価	
				観 点	評価の手段
第2学期中間考査まで	第4章 帝国主義の時代 ・帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 第5章 第一次世界大戦と大衆社会 ・大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解させる。 ・第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現させる。	知識 ・ 技能	思考 ・ 判断 ・ 表現	主体的に 学習に取り 組む態度	定期考査等
					課題やレポート
					授業での活動
第2学期期末考査まで	第6章 経済危機と第二次世界大戦 ・第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現させる。	知識 ・ 技能	思考 ・ 判断 ・ 表現	主体的に 学習に取り 組む態度	定期考査等
					課題やレポート
					授業での活動
第2学期	観点別 評価	知識・技能 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○	定期考査等
					課題やレポート
					授業での活動
学年末考査まで	第7章 冷戦と脱植民地化 ・地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、日本の高度経済成長の背景と影響、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 第8章 多極化する世界、第9章 グローバル化と現代世界 ・アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現させる。	知識 ・ 技能	思考 ・ 判断 ・ 表現	主体的に 学習に取り 組む態度	定期考査等
					課題やレポート
					授業での活動
第3学期	観点別 評価	知識・技能 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○	定期考査等
					課題やレポート
					授業での活動
第3学期	評価 規 準	・現代にいたる日本と世界の諸地域について、その特色を理解している。 ・適切な史料を基に情報を読み取る技能を身に付けている。	・冷戦期の世界の諸相や各国の動向に着目して、現代社会の成立と展開について多面的・多角的に考察している。	・現代の私たちを取り巻く諸課題について、歴史的な視点から主体的に、かつ他者と協働しながら多面的・多角的に考察しようとしている。	定期考査等
					課題やレポート
					授業での活動

※「◎」特に重視する観点

令和 7 年度 年間学習指導計画及び評価規準



学年	1 年	学科	商業科	類型			
教科	数学	科目	数学 I	単位	3	必修 選択	必修
使用教科書	「最新 数学 I」(数研出版)		補助教材等	パラルノート数学 I (数研出版)			
科目の目標	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けさせ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培うことで、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用しようとする態度を育てる。						
観点別評価	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
	重点	◎	○	○			
	評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察して表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身に付けている。 			
期間	学習指導計画 (学習内容とそのねらい)			観点別評価			
				観 点	評価の手段		
第 1 学期 中間 考査まで	1 章 数と式 1 節 数と式 ・式を、目的に応じて1つの文字に着目して整理したり、1つの文字におき換えたりするなどして既に学習した計算の方法と関連付けて、多面的に捉えたり、目的に応じて適切に変形したりする力を身に付ける。	知識 技能	思考 判断 表現	主体的に 学習に取り 組む態度	定期考査等		
					課題やレポート		
第 1 学期 期末 考査まで	2 節 実数 ・中学校までに取り扱ってきた数を実数としてまとめ、数の体系についての理解を深める。その際、実数が四則演算に関して閉じていることや、直線上の点と1対1に対応していることなどについて理解するとともに、簡単な無理数の四則計算ができるようになる。 3 節 1次不等式 ・不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察したり、具体的な事象に関連した課題の解決に1次不等式を活用したりする力を身に付ける。 2 章 集合と命題 ・集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用できるようになる。	知識 ・ 技能	思考 判断 表現	主体的に 学習に取り 組む態度	定期考査等		
					課題やレポート		
第 1 学期	観点別 評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		◎	○	○			
		<ul style="list-style-type: none"> 展開の公式や因数分解の公式を利用できる。 根号を含む式の加法、減法、乗法の計算ができる。また、分母の有理化ができる。 不等式における解の意味を理解し、1次不等式を解くことができる。 空集合、共通部分、和集合、補集合について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 式の形の特徴に着目して変形し、展開の公式や因数分解の公式が適用できるようにすることができる。 身近な問題を1次不等式の問題に帰着させ、問題を解決しようとしている。 命題の真偽を、集合の包含関係に結び付けてとらえることによって考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 式の変形、整理などの工夫において、よりよい方法を考察しようとしている。 直接証明法では難しい命題も、対偶を用いた証明法や背理法を用いると鮮やかに証明できることに興味・関心をもち、実際に証明しようとしている。 			

期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）			観点別評価	
				観 点	評価の手段
第2学期 中間 考查まで	3章 2次関数 1節 2次関数とグラフ ・2次関数とそのグラフについて理解し、2次関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようになる。 2節 2次方程式と2次不等式 ・2次方程式や2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求められるようになる。			知識 技能	定期考査等
					課題やレポート
				思考 判断 表現	定期考査等
課題やレポート					
主体的に 学習に取り 組む態度	課題やレポート				
	授業での活動				
第2学期 期末 考查まで	4章 図形と計量 1節 三角比 ・三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比の相互関係などを理解できるようになる。また、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、三角比を活用して問題を解決する力を身に付ける。			知識 ・ 技能	定期考査等
					課題やレポート
				思考 判断 表現	定期考査等
課題やレポート					
主体的に 学習に取り 組む態度	課題やレポート				
	授業での活動				
第2学期	観点別 評価	知識・技能 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評価 規 準	<ul style="list-style-type: none"> 平方完成を利用して、2次関数のグラフの軸と頂点を調べ、グラフをかくことができる。 2次関数を平方完成して、最大値、最小値を求めることができる。 2次不等式を解くことができる。 三角比の相互関係を利用して、1つの値から残りの値が求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> 2次関数の特徴について、表、式、グラフを相互に関連付けて多面的に考察することができる。 定義域が変化するときや、グラフが動くときの最大値や最小値について、考察することができる。 2次関数のグラフとx軸の共有点の個数や位置関係を、判別式の符号から考察することができる。 既知である鋭角の三角比を、鈍角の場合に拡張して考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 放物線のもつ性質に興味・関心を示し、自ら調べようとしている。 日常生活における具体的な事象の考察に、2次関数の最大・最小の考えを活用しようとしている。 2次不等式を解くときに、図を積極的に利用しようとしている。 	
学年 末 考查 まで	2節 正弦定理・余弦定理 ・図形の構成要素間の関係を、三角比を用いて表現し定理や公式を導く力、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、正弦定理、余弦定理などを活用して問題を解決したりする力などを身に付ける。 5章 データの分析 ・データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察する力、目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現する力、不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりする力などを身に付ける。 課題学習			知識 技能	定期考査等
					課題やレポート
				思考 判断 表現	定期考査等
課題やレポート					
主体的に 学習に取り 組む態度	課題やレポート				
	授業での活動				
第3学期	観点別 評価	知識・技能 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評価 規 準	<ul style="list-style-type: none"> 正弦定理・余弦定理を用いて、三角形の辺の長さや角の大きさが求められる。 平均値や最頻値、中央値、範囲、四分位範囲の定義や意味を理解し、それらを求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 正弦定理や余弦定理を用いて、測量問題が解決できる。 データの散らばりの度合いをどのように数値化するかを考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常の事象や社会の事象などに正弦定理や余弦定理を活用しようとしている。 変量の変換によって、平均値や標準偏差がどのように変化するか、考察しようとしている。 	

※「◎」特に重視する観点

令和 7 年度 年間学習指導計画及び評価規準



学年	1 年	学科	商業科	類型			
教科	理科	科目	科学と人間生活	単位	2	必修	必修
使用教科書	「科学と人間生活」 (実教出版)		補助教材等	アクセスノート 科学と人間生活 (実教出版)			
科目の目標	・自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物、現象に関する観察、実験などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。						
観点別評価	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
	重点	◎	○	○			
	評価規準	自然と人間生活とのかかわりおよび科学技術と人間生活とのかかわりについて理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する技能を身に付けている。	人間生活と関連のある自然の事物や現象の中に問題を見出し、見通しをもって実験・観察・調査などを行うとともに、ものごとを実証的・論理的に考察したり分析したりすることにより、総合的に判断し、それを表現することができる。	自然の事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとしている。 自然の原理・法則や科学技術の発展と人間生活とのかかわりについて社会が発展するための基盤として科学的に探究しようとしている。			
期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）			観点別評価			
第 1 学期 中間 考查まで	第1章 科学と技術の発展 第1節 科学と技術のはじまり ・現代の科学技術文明が科学によって支えられ、発展してきたこと、科学技術と科学を切り離して考えることができないことを理解する。 第2節 海 ・海洋の研究・調査の話題を通して、科学の各分野がかかわっていること、科学の研究が私たちの生活に生かされていることを理解する。 第3節 土 ・農業には、生物や気象などさまざまな自然現象が関連しており、科学技術を利用することで農業が発展してきたことを理解する。 第2章 物質の科学 第2節 食品と衣料 ①衣食に係る様々な物質 ・食品や衣料を構成する物質の多くが高分子化合物であることに気づく。	知識 技能	思考 判断 表現	主体的に 学習に取り 組む態度	観 点		定期考査等
					評 価 の 手 段		課題やレポート
							授業での活動
第 1 学期 期末 考查まで	②食品に係る物質 ・ミネラル、ビタミンについても触れる。糖類(炭水化物)の種類を説明し、糖類がどのようなものに含まれているか理解する。 ・生体内での代謝にも触れ、エネルギー源として重要であることに気づく。 ・タンパク質を構成するアミノ酸の構造と特徴を理解する。 ・酵素の種類と働きを日常生活と関連付けて理解する。 ・酵素がタンパク質でできていることから、どのような特徴を持っているかに触れる。 ③衣料に係る物質 ・天然の繊維とその特徴を生かして人工的につくられた化学繊維があることを説明し、その分類を理解する。 ・合成繊維(化学繊維)は重合によってつくられたものであり、いろいろな種類が存在することを理解する。	知識 ・ 技能	思考 判断 表現	主体的に 学習に取り 組む態度	観 点		定期考査等
					評 価 の 手 段		課題やレポート
							授業での活動
第 1 学期	観点別 評価	知識・技能 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○	観 点		定期考査等
					評 価 の 手 段		課題やレポート
							授業での活動
第 1 学期	評価規準	・科学技術が様々な努力によって築き上げられ、生活を豊かにしてきたが、使い方を誤ると人類の将来に大きな影響を及ぼすことを理解している。 ・食品や繊維を構成する物質の構造がその性質と関係していることを理解している。	・天然にある素材と人工的に作り出した素材が日常生活の中でどのように使われているかを考え、表現することができる。	・科学の発展の歴史に興味をもち、私たちの生活を支える技術が科学とどのように関わり、発展してきたかを探究しようとしている。 ・身近にある食品や繊維に関して、簡単にできる観察や実験の技能を習得し、その結果を日常生活に生かすようにしている。	観 点		定期考査等
					評 価 の 手 段		課題やレポート
							授業での活動

期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）			観点別評価	
				観 点	評価の手段
第2学期 中間 考查まで	第3章 生命の科学 第2節 微生物とその利用 ①いろいろな微生物 ・空気中の微生物の培養や水中の微生物の観察を通じ、身近にいろいろな微生物がいることに気づかせる。 ・地球上のあらゆる場所に微生物がいることを学習させる。また、微生物の種類について理解する。 ②微生物の利用 ・発酵や腐敗などの現象を通じ、微生物が身近にいることを理解する。 ③生態系での微生物 ・空気中の微生物が有機化合物を分解することを理解する。 ・生態系での物質循環に微生物がどのように関わっているかを学習する。			知識 技能	定期考査等
					課題やレポート
				思考 判断 表現	定期考査等
					課題やレポート
主体的に 学習に取り 組む態度	授業での活動				
	振り返りシート等				
第2学期 期末 考查まで	第4章 光と熱の科学 第1節 熱の性質とその利用 ①熱 ・温度は物に関わる量であることを物体をつくる分子・原子の熱運動と結びつけて理解する。 ・熱は物体が持つ量ではなく、温度の異なる物体どうしが接触した時に移動する量であること、および熱平衡について理解する。 ②熱の発生 ・物質の熱容量・比熱、熱量の保存について理解させ、身の回りにある物質がこれらと関係し、利用されていることに気付く。 ③エネルギーの変換と利用 ・エネルギー変換を利用する技術が様々な分野で発展していることを学習する。 ・熱機関はその効率が高められ、発展してきたが、永久機関は不可能であることを理解する。			知識 技能	定期考査等
					課題やレポート
				思考 判断 表現	定期考査等
					課題やレポート
主体的に 学習に取り 組む態度	授業での活動				
	振り返りシート等				
第2学期	観点別 評価	知識・技能 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評価 規 準	<ul style="list-style-type: none"> 様々な微生物の存在や働き、生態系での役割について得た知識を、人間生活と関連づけて理解できる。 エネルギーが変換し、保存することを理解できる。また、その性質を利用して科学技術が発展したことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 微生物の発見など歴史的な事項についての学習を通じ、科学的な思考をもとに考察し、表現することができる。 身の回りに熱に関わる現象を見出し、熱の性質から科学的に思考し、熱を有効利用できるような判断ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 微生物と人間生活の関わりについて関心を持ち、探究しようとしている。 エネルギーに関する科学技術に関心を持ち、科学的な見方・考え方を身につけようとしている。 	
学年 末 考查まで	第5章 宇宙や地球の科学 第2節 身近な自然景観と自然災害 ①身近な景観のなりたち ・身近な地域の自然景観を、流水の作用など大地を平坦にする変化、および火山活動など大地の起伏を大きくする変化と関連付けて学習する。 ②地球内部のエネルギー ・火山や地震などのメカニズムを理解する。 ③自然の恵みと自然災害 ・将来起こる可能性のある自然災害を理解し、防災、減災を意識する。 第6章 これからの科学と人間生活 ・科学技術の成果と今後の課題について考察し、科学技術と人間生活との関わりについて探究する。			知識 技能	定期考査等
					課題やレポート
				思考 判断 表現	定期考査等
					課題やレポート
主体的に 学習に取り 組む態度	授業での活動				
	振り返りシート等				
第3学期	観点別 評価	知識・技能 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評価 規 準	<ul style="list-style-type: none"> 身近な自然景観の成因やな日本列島の成り立ちを理解している。 課題研究から明らかにされた結果や関連する事項が理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然災害の起きる原因を理解し、災害リスクを減らすための方法について総合的に判断し、それを表現することができる。 科学に関わる課題について具体例をあげ、今後の科学研究のあり方について考え、それを表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な自然景観や自然災害に関心を持ち、探究しようとしている。 科学と人間生活の間に現在生まれている新しい課題に関心を持ち、具体例を考え、研究しようとしている。 	

※「◎」特に重視する観点

令和 7 年度 年間学習指導計画及び評価規準



学年	1 年	学科	商業科	類型			
教科	保健体育	科目	体育	単位	3	必修 選択	必修
使用教科書	現代高等保健体育 (大修館書店)		補助教材等	アクティブスポーツ (大修館書店)			
科目の目標	運動の合理的、計画的な実践を通して運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続するために、運動の多様性や体力の必要性を理解し、技能を身につけるようにするとともに、課題を発見し、合理的・計画的な解決のため他者に伝える力を養う。また、運動における競争や協働の経験を通して公正・協力・責任・参画・共生などに対する意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。						
観点別評価	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
	重点	◎	○	○			
	評価規準	・運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かにすることができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。	・生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、運動に親しもうとしている。			
期間	学習指導計画 (学習内容とそのねらい)			観点別評価			
				観 点	評価の手段		
第 1 学期 中間 考查まで	体づくり運動 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立てて取り組ませる。 陸上競技 ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身につけさせる。			知識 技能	授業での活動		
					発問に対する応答		
					実技テスト等		
第 1 学期 期末 考查まで	球技 ア. ゴール型 サッカー イ. ネット型 バレーボール ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法を理解するとともに作戦委応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できる。攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えさせる。 体育理論 ①スポーツの始まりと変遷 スポーツの始まりについて知り、なぜスポーツが世界中に広まったのかを理解させる。 ②文化としてのスポーツ 多様ななかかわり方によるスポーツ文化の変容について例をあげて説明させる。			思考 判断 表現	授業での活動		
					発問に対する応答		
					授業に対する態度		
第 1 学期	観点別 評価	知識・技能 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に 学習に取り 組む態度 ○	授業での活動		
					発問に対する応答		
					授業に対する態度		
	評価規準	・運動種目のルール、技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、試合や発表の仕方などについて理解している。 ・運動種目の固有の技能や動き、演技について自己の能力に応じた目標設定を安定して行うことができる。	・生涯にわたって運動を豊かに継続するために自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・各種目に主体的に取り組むとともに、良いプレーや、良い演技を讃えようとする、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをしたり、健康・安全を確保したりしようとしている。			

令和 7 年度 年間学習指導計画及び評価規準

学年	1 年	学科	商業科	類型			
教科	保健体育	科目	保健	単位	1	必修 選択	必修
使用教科書	現代高等保健体育 (大修館書店)		補助教材等	現代高等保健ノート (大修館書店)			
科目の目標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育成する。						
観点別評価	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
	重点	◎	○	○			
	評価規準	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を身に付けている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を身につけている。			
期間	学習指導計画 (学習内容とそのねらい)			観点別評価			
				観 点	評 価 の 手 段		
第 1 学期 中間 考查まで	1. 現代社会と健康 ①健康の考え方と成り立ち さまざまな健康の考え方について知り、健康を成り立たせている要因について理解する。 ②私たちの健康のすがた 現在の日本の健康水準を知り、心の健康や高齢化が社会に与える影響など健康問題の変化について理解を深める。 ③生活習慣病の予防と回復 ヘルスプロモーションの考え方について理解し、生活習慣病の予防について社会や自他の課題を知り、よりよい課題解決に向けて考えを深める。 ④がんの原因と予防 がんの種類や原因について理解する。がんの一次予防、二次予防について理解し説明できる。 ⑤がんの治療と回復 がんのおもな治療法について知り、社会的な対策について学ぶ。			知識 技能	定期考查等		
					授業での活動		
				思考 判断 表現	授業での活動		
振り返りシート等							
第 1 学期 期末 考查まで	⑥運動と健康 運動の意義を学び、健康のための運動、将来にわたり運動を継続していくために必要なことを理解する。 ⑦食事と健康 健康の保持増進にとって、食事はとくに重要な要素であることから自身の課題を知り、自身に合った解決方法を思考し説明できる。 ⑧休養・睡眠と健康 休養の必要性を自覚し、よりよい休養・睡眠のあり方について説明できる。 ⑨喫煙と健康 たばこのない社会の実現には個人および社会全体での取り組みが重要であることを理解し、新たな解決方法を探究する。 ⑩飲酒と健康 飲酒による健康への短期的・長期的影響および飲酒による社会問題について理解を深める。			知識 ・ 技能	定期考查等		
					授業での活動		
				思考 判断 表現	授業での活動		
振り返りシート等							
第 1 学期	観点別 評価	知識・技能 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に 学習に取り 組む態度 ○			
					評価規準		
					・運動や喫煙、飲酒などが健康にどのように作用するのかを理解している。 ・資料やグラフなどから情報を読み取る技能を身に付けている。	・現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。	・現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。

期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）			観点別評価	
				観 点	評価の手段
第2学期 中間 考査 まで	①薬物乱用と健康 薬物乱用が引き起こす心身への影響や社会問題について学び、絶対に許してはならないことを理解する。 ②精神疾患の特徴 現代社会における精神保健の課題を説明できる。 ③精神疾患の予防 精神疾患の早期発見のために必要なことについて説明できる。 ④精神疾患からの回復 精神疾患の適切な治療や回復のための、必要な社会環境について理解を深める。 ⑤現代の感染症 新興感染症と再興感染症が流行する要因を理解し、自身の感染予防について振り返り、課題解決の方法を学ぶ。 ⑥感染症の予防 感染症予防の3原則を理解するとともに、一人ひとりの適切な行動が、社会全体を感染症の流行から守ることにつながることを理解する。			知識 技能	定期考査等 授業での活動
				思考 判断 表現	授業での活動 振り返りシート等
				主体的に 学習に取り 組む態度	授業での活動 課題やレポート 振り返りシート等
第2学期 期末 考査 まで	⑦性感染症・エイズとその予防 性感染症およびエイズについて基本的知識を学び、予防対策について個人及び社会の両面から理解し説明できる。 ⑧健康に関する意思決定・行動選択 健康に関する適切な意思決定・行動選択の際の工夫について例をあげて説明できる。 ⑨健康に関する環境づくり 社会環境が健康に与える影響について知り、ヘルスプロモーションの考え方にもとづく社会づくりについて考えを深める。 2. 安全な社会生活 ①事故の現状と発生要因 交通事故の現状と実態を知り、人的要因と環境要因が関連していることを学ぶ。 ②安全な社会の形成 交通事故防止のための安全な交通社会づくりを学ぶ。			知識 ・ 技能	定期考査等 授業での活動
				思考 判断 表現	授業での活動 振り返りシート等
				主体的に 学習に取り 組む態度	授業での活動 課題やレポート 振り返りシート等
第2学期	観点別 評価	知識・技能 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評価 規 準	・薬物や感染症などについて理解している。 ・資料やグラフなどから情報を読み取る技能を身に付けている。	・現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。	・現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	
学年 末 考査 まで	③交通における安全 交通事故における責任を3つに分けて説明できる。 ④応急手当と意義とその基本 応急手当の意義や基本的な手順のほか、緊急時の積極的な行動が人命救助につながることを理解する。 ⑤日常的な応急手当 これまでの学習の復習をしながら、さらに理解を深める。熱中症は適切な判断と応急手当、その予防を理解する。 ⑥心肺蘇生法 実習を通して正確な心肺蘇生法の習得をめざすとともに、その原理を理解する。			知識 技能	定期考査等 授業での活動
				思考 判断 表現	授業での活動 振り返りシート等
				主体的に 学習に取り 組む態度	授業での活動 課題やレポート 振り返りシート等
第3学期	観点別 評価	知識・技能 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評価 規 準	・事故に対する対応や応急処置などについて理解している。 ・資料やグラフなどから情報を読み取る技能を身に付けている。	・安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それらを表現している。	・安全な社会生活についての学習に主体的に取り組もうとしている。	

※「◎」特に重視する観点

令和 7 年度 年間学習指導計画及び評価規準



学年	1年	学科	商業科	類型	共通		
教科	外国語	科目	英語コミュニケーション I	単位	2	必修 選択	必修
使用教科書	「All Aboard! English Communication I」 (東京書籍)		補助教材等	「All Aboard! English Communication I WORK BOOK」 (東京書籍)			
科目の目標	日常的、身近な話題について、多くの支援を活用すれば、 ・必要な情報を聞いたり読んだりして、話し手や書き手の意図や概要を捉えたりすることができるようにする。 ・基本的な語句を用いて、気持ちなどを話して伝え合うやり取りをすることができるようにする。 ・基本的な語句や文を用いて、自分の考えを書いて伝えたり、発表したりできるようにする。						
観点別評価	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
	重点	◎	○	○			
	評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 必要な情報を聞いたり読んだりして、話し手や書き手の意図や概要を捉える知識を身に付けている。 基本的な語句を用いて、自分の考えや意見などを話して伝え合うやり取りができる技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要な情報を聞いたり読んだりして、話し手や書き手の意図や概要を捉えている。 日常的、身近な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちを話したり書いたりして伝え合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要な情報を聞いたり読んだりして、話し手や書き手の意図や概要を捉えようとしている。 聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちを話したり書いたりしようとしている。 			
期間	学習指導計画 (学習内容とそのねらい)			観点別評価			
第1学期 中間 考查 まで	Lesson1 Breakfast around the World 世界の朝食を紹介するスピーチを通して、その特徴や相違を学習する。世界の朝食に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の考えや好み、その理由を簡単な英語を使って話したり書いたりして伝え合う。 Lesson2 Australia's Cute Quokkas オーストラリアの珍しい野生動物クオッカと観光のルールについて学習する。オーストラリアに生息する珍しい野生動物に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の考えを話したり書いたりする。	知識 ・ 技能	思考 ・ 判断 ・ 表現	主体的に 学習に 取り組 む態度	定期 考査等	課題 やレポ ート	振り 返し シ ー ト等
					課題 やレポ ート	定期 考査等	授業 での 活動
					振り 返し シ ー ト等	授業 での 活動	課題 やレポ ート
第1学期 期 末 考 査 ま で	Lesson3 A Train Driver in Sanriku 被災地を運行する列車運転士のスピーチを通して、職業の意義について考える。列車運転士の職業観の紹介やある場所への行き方とそこでできること、自分ができること・できないことについて、助動詞can、willを用いて情報や考えを話して伝え合う。 Lesson4 A Miracle Mirror 海外の観光地について書かれたメールを通して、その魅力について学習する。ある場所に関して書かれた文章について、行ってみたい場所ややりたいことをto不定詞 (to+動詞の原形) を用いて話したり書いたりする。また、相手の考えを聞き、理解する。	知識 ・ 技能	思考 ・ 判断 ・ 表現	主体的に 学習に 取り組 む態度	定期 考査等	課題 やレポ ート	振り 返し シ ー ト等
					課題 やレポ ート	定期 考査等	授業 での 活動
					振り 返し シ ー ト等	授業 での 活動	課題 やレポ ート
第1学期	観点別 評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		◎	○	○			
	評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 本文の内容について、話し手や書き手の意図や概要を捉える知識を身に付けている。 本文で学んだ内容に関する情報や自分の考えをまとめ、相手に伝える技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の内容について、話し手や書き手の意図や概要を捉えている。 本文で学んだ内容に関する情報や自分の考えをまとめ、相手に伝わるよう書いたり話したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の内容について、話し手や書き手の意図や概要を捉えようとしている。 本文で学んだ内容に関する情報や自分の考えをまとめ、相手に伝えようとしている。 			

期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）			観点別評価	
				観 点	評価の手段
第2学期 中間 考査 まで	Lesson 5 Learning from the Sea 高校のユニークな部活動を通して、今好きなことと将来の夢について考える。高校のユニークな部活動に関して書かれた文章について聞いたり読んだりしたことを活用しながら、将来の夢や先週末に楽しんだことについての相手の意見を知り、また、自分の考えを話したり書いたりする。 Reading1 Short Stories in English ・3つのショートストーリーを読み、それぞれの場面や心情を読み取ってユーモアを理解する。 ・登場人物の気持ちを考えながらペアになって音読する。			知識 技能	定期考査等
					課題やレポート
				振り返りシート等	
				思考 判断 表現	課題やレポート
定期考査等					
授業での活動					
主体的に 学習に取り 組む態度	振り返りシート等				
	授業での活動				
	課題やレポート				
	実技テスト等				
第2学期 期末 考査 まで	Lesson6 A Funny Picture from the Edo Period 江戸時代の浮世絵師、歌川国芳についてのスピーチを通して浮世絵と現代マンガの関連性について考える。歌川国芳の浮世絵に関して書かれた文章について読み、好きな絵の紹介を受け身（be動詞+過去分詞）を用いて伝え合う。 Communication2 道案内の場面においてよく使われる表現を用いて、英語で道案内をしたり、道順を尋ねたりする。			知識 ・ 技能	定期考査等
					課題やレポート
				振り返りシート等	
				思考 判断 表現	課題やレポート
定期考査等					
授業での活動					
主体的に 学習に取り 組む態度	振り返りシート等				
	授業での活動				
	課題やレポート				
	実技テスト等				
第2学期	観点別 評価	知識・技能 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評価 規 準	・本文の内容について、話し手や書き手の意図や概要を捉える知識を身に付けている。 ・本文で学んだ内容に関する情報や自分の考えをまとめ、相手に伝える技能を身につけている。	・本文の内容について、話し手や書き手の意図や概要を捉えている。 ・本文で学んだ内容に関する情報や自分の考えをまとめ、相手に伝わるよう書いたり話したりしている。	・本文の内容について、話し手や書き手の意図や概要を捉えようとしている。 ・本文で学んだ内容に関する情報や自分の考えをまとめ、相手に伝えようとしている。	
学年 末 考査 まで	Lesson7 A Diary of Hope アンネ・フランクの生活と日記について紹介する授業を通して、生きることの意味について考える。アンネ・フランクの生活と彼女の日記について書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用し、関心のある人物についての自分の考えをまとめ、発表する。 Lesson8 A Door to a New Life ロボットカフェを紹介する実況中継を通して、ロボットの可能性について考える。現在完了形の表現を学んだ上でロボットカフェについて知る。人々の生活を豊かにするロボットのアイデアについて考え、簡単な英語を使って感想を述べる。			知識 技能	定期考査等
					課題やレポート
				振り返りシート等	
				思考 判断 表現	課題やレポート
定期考査等					
授業での活動					
主体的に 学習に取り 組む態度	振り返りシート等				
	授業での活動				
	課題やレポート				
	実技テスト等				
第3学期	観点別 評価	知識・技能 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評価 規 準	・本文の内容について、話し手や書き手の意図や概要を捉える知識を身に付けている。 ・本文で学んだ内容に関する情報や自分の考えをまとめ、相手に伝える技能を身につけている。	・本文の内容について、話し手や書き手の意図や概要を捉えている。 ・本文で学んだ内容に関する情報や自分の考えをまとめ、相手に伝わるよう書いたり話したりしている。	・本文の内容について、話し手や書き手の意図や概要を捉えようとしている。 ・本文で学んだ内容に関する情報や自分の考えをまとめ、相手に伝えようとしている。	

※「◎」特に重視する観点

令和 7 年度 年間学習指導計画及び評価規準



学年	1 年	学科	商業科	類型	共通									
教科	外国語	科目	論理・表現 I		単位	2	必修 選択	必修						
使用教科書	MY WAY Logic and Expression I (三省堂)		補助教材等											
科目の目標	言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度を養うとともに、論理的な思考力を養い、論理の展開や表現の方法を工夫し、伝える能力を養う。													
観点別評価	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度								
	重点	◎		○		○								
	評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 情報や考え、気持ちなどを伝え合うために必要となる語彙や表現、概念、音声等を理解している。 身近な話題について、情報や自分の考えや気持ちなどを話して伝えあったり、書いたりする技能を身につけている。 		<ul style="list-style-type: none"> 聞いたり、読んだりした英文の概要、要点を整理し、必要な情報を捉えている。 相手に理解してもらえるように、身近な話題について、情報や自分の考えや気持ちを即興で伝え合ったり、整理して伝えている。 		<ul style="list-style-type: none"> 聞いたり、読んだりした英文の概要、要点を整理し、必要な情報を捉えようとしている。 相手に理解してもらえるように、身近な話題について、情報や自分の考えや気持ちを即興で伝え合ったり、整理して伝えようとしている。 								
期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）				観点別評価									
第 1 学期 中間 考查まで	<p>Lesson 1 Let's Talk about Ourselves</p> <p>学校の場所について、be動詞の現在形や学校内の場所を表す表現などを用いて、即興で事実を尋ねたり、初対面のあいさつをしたりする。自分自身のことについて、一般動詞の現在形や趣味、好きなものを表す表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを整理し、発表する。</p> <p>Lesson 2 School Life</p> <p>好きだった教科について、動詞の過去形や教科を表す表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを即興で伝え合う。部活動について、現在進行形、過去進行形や趣味、部活動を説明する表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを整理し、書く。</p>				知識 技能	定期考查等								
						授業での活動								
						課題やレポート								
第 1 学期 期末 考查まで	<p>Lesson 3 The Arts</p> <p>週末の予定について、未来表現やイベントを説明する表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを即興で伝え合う。好きな絵について、基本時制（現在形、過去形、未来表現）や趣味、物事を説明する表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを整理し、発表する。</p> <p>Lesson 4 Food and Culture</p> <p>注文したい料理について、現在完了形（完了、経験）や料理のメニューを表す表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを伝え合う。日本の食文化について、現在完了形（継続）、現在完了進行形や各国の食べ物を表す表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを整理し、書く。</p>				思考 判断 表現	定期考查等								
						課題やレポート								
						授業での活動								
第 1 学期	観点別 評価	知識・技能	◎	思考・判断・表現	○	主体的に学習に取り組む態度	○	評価規準						
									<ul style="list-style-type: none"> 情報や考え、気持ちなどを伝え合うために必要となる語彙や表現、概念、音声等を理解している。 自分自身のことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを話して伝えあったり、書いたりする技能を身につけている。 		<ul style="list-style-type: none"> 本文の概要、要点を整理し、必要な情報を捉えている。 相手に理解してもらえるように、自分自身のことについて、情報や自分の考えや気持ちを即興で伝え合ったり、整理して伝えている。 		<ul style="list-style-type: none"> 本文の概要、要点を整理し、必要な情報を捉えようとしている。 相手に理解してもらえるように、自分自身のことについて、情報や自分の考えや気持ちを即興で伝え合ったり、整理して伝えようとしている。 	

期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）			観点別評価	
				観 点	評価の手段
第2学期中間考査まで	<p>Lesson 5 Welcome to Our Town 観光の目的地について、助動詞や道案内の表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを即興で伝え合う。地域の特徴やマスコットキャラクターについて、受動態や地域の特産品を表す表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを整理し、発表する。</p> <p>Lesson 6 Traveling Abroad 買いたいおみやげについて、不定詞（名詞的用法、形容詞的用法）やおみやげを表す表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを伝え合う。旅行での出来事について、不定詞（副詞的用法など）や旅行の楽しみを表す表現などを用いて、事実を整理し、書く。</p>			知識 技能	定期考査等
					授業での活動 課題やレポート
				思考 判断 表現	定期考査等
課題やレポート 授業での活動					
主体的に 学習に取り 組む態度	授業での活動				
	実技テスト等				
	作品や課題 振り返りシート等				
第2学期期末考査まで	<p>Lesson 7 Sports スポーツの試合について、動名詞やスポーツの動作を説明する表現などを用いて、事実を伝え合う。車いす競技について、分詞による後置修飾、分詞構文やスポーツの動作を説明する表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを整理し、発表する。</p> <p>Lesson 8 Everyday Technology 紙の本と電子書籍のよさについて、比較（比較級）や紙の本と電子書籍の特徴を説明する表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを伝え合う。科学技術製品について、比較（最上級、同等比較）や趣味、科学技術製品を説明する表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを整理し、書く。</p>			知識 ・ 技能	定期考査等
					授業での活動 課題やレポート
				思考 判断 表現	定期考査等
課題やレポート 授業での活動					
主体的に 学習に取り 組む態度	授業での活動				
	実技テスト等				
	作品や課題 振り返りシート等				
第2学期	観点別 評価	知識・技能 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評価 規 準	・情報や考え、気持ちなどを伝えるために必要となる語彙や表現、概念、音声等を理解している。 ・日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを話して伝えあったり、書いたりする技能を身につけている。	・本文の概要、要点を整理し、必要な情報を捉えている。 ・相手に理解してもらえるように、日常的な話題について、情報や自分の考えや気持ちを即興で伝え合ったり、整理して伝えている。	・本文の概要、要点を整理し、必要な情報を捉えようとしている。 ・相手に理解してもらえるように、日常的な話題について、情報や自分の考えや気持ちを即興で伝え合ったり、整理して伝えようとしている。	
学年末考査まで	<p>Lesson 9 Take Care 身体の具合について、関係代名詞（主格、目的格）や体調を表す表現などを用いて、事実を即興で伝え合う。健康について、関係代名詞（目的格の省略など）や健康管理を表す表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを整理し、発表する。</p> <p>Lesson 10 SDGs — Take Action! SDGsについての基本的な語句や文を身に付け、関係副詞や社会問題を説明する表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを伝え合う。SDGsについて、仮定法や趣味、社会問題の解決に役立つことを説明する表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを整理し、書く。</p>			知識 技能	定期考査等
					課題やレポート 振り返りシート等
				思考 判断 表現	課題やレポート
定期考査等 授業での活動					
主体的に 学習に取り 組む態度	振り返りシート等				
	授業での活動				
	課題やレポート 実技テスト等				
第3学期	観点別 評価	知識・技能 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評価 規 準	・情報や考え、気持ちなどを伝えるために必要となる語彙や表現、概念、音声等を理解している。 ・日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを話して伝えあったり、書いたりする技能を身につけている。	・本文の概要、要点を整理し、必要な情報を捉えている。 ・相手に理解してもらえるように、日常的な話題について、情報や自分の考えや気持ちを即興で伝え合ったり、整理して伝えている。	・本文の概要、要点を整理し、必要な情報を捉えようとしている。 ・相手に理解してもらえるように、日常的な話題について、情報や自分の考えや気持ちを即興で伝え合ったり、整理して伝えようとしている。	

※「◎」特に重視する観点

令和 7 年度 年間学習指導計画及び評価規準

学年	1 年	学科	商業科	類型			
教科	商業	科目	ビジネス基礎	単位	3	必修 選択	必修
使用教科書	ビジネス基礎 (実教出版)		補助教材等	ビジネス基礎 準拠問題集 (実教出版)			
科目の目標	<p>商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおりで育成することを目指す。</p> <p>(1) ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3) ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>						
観点別評価	観点	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
	重点	◎	○	○			
	評価規準	<p>ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解し、ビジネスの様々な場面で役に立つ、ビジネスに関する基礎的な知識と技術を身に付けている。</p>	<p>ビジネスをはじめとして様々な知識、技術を活用し、ビジネスに関する課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、市場の動向、ビジネスに関する理論、データ、成功事例や改善に要する根拠に基づいて工夫してよりよく解決することについて考えている。</p>	<p>ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自らビジネスについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して、当事者としての意識を持ち、他者と信頼関係を構築して積極的にに関わり、ビジネスの創造と発展に責任をもって取り組もうとしている。</p>			
期間	学習指導計画 (学習内容とそのねらい)			観点別評価			
第 1 学期 中間 考查 まで	1 章 商業の学習とビジネス 1 いざ、ビジネスの世界へ ①ビジネスの世界で活躍 ②ビジネスに必要な心構え ③しっかり楽しく学んでいこう 2 私たちの社会とビジネス ①私たちの生活とビジネス ②社会を支えるビジネス ③産業構造の変化とビジネス ④情報化とビジネス ⑤グローバル化とビジネス ⑥社会の課題とビジネス (ねらい) 商業を学ぶ重要性と学び方、ビジネスの役割など商業の学習とビジネスに関する知識などを基盤として、商業を学ぶこと及びビジネスの意義と課題について自らの考えをもつとともに、ビジネスの展開についての意識と意欲を高め、組織の一員としての役割を果たすことができるようにする。	知識 技術	定期考查等		課題やレポート		
			思考 判断 表現	定期考查等		課題やレポート	
				授業での活動		振り返りシート等	
主体的に 学習に 取り組む 態度	課題やレポート			授業での活動		振り返りシート等	
	第 1 学期 期末 考查 まで	2 章 ビジネスとコミュニケーション 1 コミュニケーション 2 ビジスマナー 3 情報の入手と活用 (ねらい) 信頼関係の構築、コミュニケーションなどビジネスに対する心構えに関する知識、技術などを基盤として、信頼関係の構築がビジネスに及ぼす影響など科学的な根拠に基づいて、ビジネスの展開について、組織の一員としての役割を果たすことができるようにする。 3 章 経済と流通の基礎 1 経済の仕組みとビジネス 2 経済活動と流通 (ねらい) 経済の基本概念、流通の役割など経済と流通に関する知識などを基盤として、経済と流通の動向など科学的な根拠に基づいて、流通と流通を支える活動の展開について、組織の一員としての役割を果たすことができるようにする。 4 章 さまざまなビジネス 1 ビジネスの種類 2 小売業 3 卸売業 4 物流業	知識 ・ 技術	定期考查等		課題やレポート	
				思考 判断 表現	定期考查等		課題やレポート
授業での活動					振り返りシート等		
主体的に 学習に 取り組む 態度	課題やレポート		授業での活動		振り返りシート等		
	観点別 評価	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		◎	○	○			
評価規準		<p>・商業の学習及びビジネスの概要について理解することができている。</p> <p>・ビジネスに対する心構えについて実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けている。</p> <p>・経済と流通について経済社会における事例と関連付けて理解している。</p>	<p>・商業を学ぶこと及びビジネスの意義と課題について、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展と関連付けて見いだすことができる。</p> <p>・ビジネスの場を分析し、科学的な根拠に基づいて、ビジネスにおいて他者に対応するとともに、情報を入手して活用し、評価・改善することができる。</p> <p>・経済と流通に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考案することができる。</p>	<p>・ビジネスの基礎的な事項について自ら学び、ビジネスに主体的かつ協働的に取り組むことができる。</p> <p>・ビジネスに対する心構えについて自ら学び、ビジネスに主体的かつ協働的に取り組むことができる。</p> <p>・経済と流通について自ら学び、経済の基本概念を踏まえ、流通と流通を支える活動に主体的かつ協働的に取り組むことができる。</p>			

期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）			観点別評価	
				観 点	評価の手段
第2学期 中間 考查まで	4章 さまざまなビジネス 5 金融業 6 情報通信業 (ねらい) 卸売業と小売業の分類と機能及び小売業の業態の変化について理解を深めさせる。また、物流活動、金融及び保険の働きや仕組みについても考えさせる。 5章 企業活動の基礎 1 ビジネスと企業 2 マーケティングの重要性 3 資金調達 4 財務諸表の役割 5 企業活動と税 6 雇用 (ねらい) 企業の形態と組織、マーケティングの重要性と流れビジネス基礎など企業活動に関する知識などを基盤として、企業活動の動向など科学的な根拠に基づいて、企業活動の展開について、組織の一員としての役割を果たすことができるようにする。			知識 技術	定期考査等
					課題やレポート
				思考 判断 表現	定期考査等
課題やレポート					
主体的に 学習に取り 組む態度	授業での活動				
	振り返りシート等				
	課題やレポート				
第2学期 期末 考查まで	6章 ビジネスと売買取引 1 売買取引の手順 2 代金決済 7章 ビジネス計算 1 ビジネス計算の基礎 2 ビジネス計算の応用 (ねらい) 売買取引、代金決済など取引とビジネス計算に関する知識、技術などを基盤として、実務における取引とビジネス計算の方法など科学的な根拠に基づいて、契約の締結と履行について、組織の一員としての役割を果たすことができるようにする。 問題演習			知識 ・ 技術	定期考査等
					課題やレポート
				思考 判断 表現	定期考査等
課題やレポート					
主体的に 学習に取り 組む態度	授業での活動				
	振り返りシート等				
	課題やレポート				
第2学期	観点別 評価	知識・技術 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評価 規 準	・経済と流通について経済社会における事例と関連付けて理解している。 ・取引とビジネス計算について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けることができる。	・経済と流通に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考案することができる。 ・取引に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考案することができる。	・経済と流通について自ら学び、経済の基本概念を踏まえ、流通と流通を支える活動に主体的かつ協動的に取り組むことができる。 ・取引とビジネス計算について自ら学び、適切な契約の締結と履行に主体的かつ協動的に取り組むことができる。	
学年 末 考 査 ま で	問題演習 8章 身近な地域のビジネス 1 さまざまな地域の魅力と課題 2 地域ビジネスの動向 (ねらい) 身近な地域のビジネスに関する知識などを基盤として、地域のビジネスを取り巻く環境など科学的な根拠に基づいて、ビジネスの振興による地域の発展について、組織の一員としての役割を果たすことができるようにする。 問題演習			知識 技術	定期考査等
					課題やレポート
				思考 判断 表現	定期考査等
課題やレポート					
主体的に 学習に取り 組む態度	授業での活動				
	振り返りシート等				
	課題やレポート				
第3学期	観点別 評価	知識・技術 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評価 規 準	・企業活動について経済社会における事例と関連付けて理解することができる。 ・身近な地域のビジネスについて理解することができる。	・企業活動に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考案することができる。 ・身近な地域のビジネスに関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、ビジネスの振興策を考案して実施し、評価・改善することができる。	・企業活動について自ら学び、企業活動に関する事例などを踏まえ、企業活動に主体的かつ協動的に取り組むことができる。 ・身近な地域のビジネスについて自ら学び、ビジネスの振興による地域の発展に主体的かつ協動的に取り組むことができる。	

※「◎」特に重視する観点

令和 7 年度 年間学習指導計画及び評価規準

学年	1 年	学科	商業科	類型			
教科	商業	科目	情報処理	単位	4	必修 選択	必修
使用教科書	「情報処理」 (東京法令出版)		補助教材等	全商情報処理検定模擬試験問題集3級 (実教出版) 学習と検定 全商情報処理検定テキスト2級 ビジネス情報部門 (実教出版)			
科目の目標	(1) 企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2) 企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 (3) 企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業において情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。						
観点別評価	観点	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
	重点	◎	○	○			
	評価規準	企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業において情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
期間	学習指導計画 (学習内容とそのねらい)			観点別評価			
第1学期 中間 考查まで	3章 情報の集計と分析 1節 ビジネスと統計 ・情報の重要性を理解し、情報を分析して、傾向を把握する能力を身に付ける。 2節 関数を利用した表の作成 ・基本的な操作や計算式及び関数について理解し、目的に応じて適切な表を作成する技術を身に付ける。	知識 技術	思考 判断 表現	主体的に学習に取り組む態度			
				定期考查等			
				課題やレポート 授業での活動			
第1学期 期末 考查まで	1章 企業活動と情報処理 1節 情報処理の重要性 ・身近な事例を基に情報とは何かを考える学習活動により、情報の意義と役割を理解する。 2節 情報モラルと法規 ・身近な事例から情報の価値を考える学習活動により、情報を正しく取り扱うことの大切さに気づき、そのために必要な情報モラルの基本的な考え方や態度に類手理解する。 3章 情報の集計と分析 3節 グラフの作成 ・グラフの種類や構成要素、特色を理解し、表計算ソフトウェアを利用して目的に合ったグラフ作成方法について理解する。	知識 ・ 技術	思考 判断 表現	主体的に学習に取り組む態度			
				定期考查等			
				課題やレポート 授業での活動			
第1学期	観点別 評価	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		◎	○	○			
		評価規準	・基本的な操作や計算式及び関数について理解している。 ・目的に応じて適切な表を作成する技術を身につけている。	・情報の意義と重要性について考え、説明することができる。 ・身近な事例で情報モラルに基づいた正しい行動のあり方を考え、説明することができる。	・基本的な操作や関数等について理解し、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 ・ビジネスにおける情報の役割を理解し、活用するための知識や技術を積極的に身に付けようとしている。		

期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）			観点別評価	
				観 点	評価の手段
第2学期 中間 考査 まで	1章 企業活動と情報処理 3節 コミュニケーションと情報デザイン ・企業における適切な情報処理について理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 3章 情報の集計と分析 4節 情報の整列・検索・抽出 ・大量のデータを目的に応じた利用しやすい形で活用するために、表計算ソフトウェアのデータベース機能を利用して、整列や検索、抽出の技法について理解する。			知識 技術	定期考査等
					課題やレポート
				授業での活動	
	思考 判断 表現	定期考査等			
		課題やレポート			
	主体的に 学習に取り 組む態度	定期考査等			
		課題やレポート			
		授業での活動			
		振り返りシート等			
第2学期 期 末 考査 まで	2章 コンピュータシステムと情報通信ネットワーク 1節 コンピュータシステムの概要 ・コンピュータの基本的な機能と構成を理解し、ハードウェアとソフトウェアの種類と機能について理解するとともに、それを活用する基本的な技術を身につける。 3章 情報の集計と分析 5節 問題の発見と解決の方法 ・事象をモデル化し、シミュレーションを行う基礎的な技法及びアルゴリズムを考察し、プログラムとして表現する基礎的な技法を用いた問題の発見と解決について考察する。			知識 ・ 技術	定期考査等
					課題やレポート
				授業での活動	
	思考 判断 表現	定期考査等			
		課題やレポート			
	主体的に 学習に取り 組む態度	定期考査等			
		課題やレポート			
		授業での活動			
		振り返りシート等			
第2学期	観点別 評価	知識・技術 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評価 規 準	・情報処理における情報デザインについて理解している。 ・表計算ソフトウェアのデータベース機能を利用して、整列や検索、抽出の技法について理解している。	・情報の提供に対する要求を分析し、科学的根拠に基づいて、表現し、評価・改善できる。	・適切な情報の提供と効果的な活用について主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	
学 年 末 考 査 ま で	4章 ビジネス文書の作成 1節 ビジネス文書と表現 ・文書情報がコミュニケーションの重要な手段として、ビジネスの諸活動の中で果たしている役割や種類について理解する。 2節 基本文書の作成 ・ワープロの利用に関する知識と技術を習得させ、文書の構成、構成要素の配置、文書作成の要領について理解する。 3節 応用文書の作成 ・ワープロの多様な機能を利用して、表やグラフなどを含む応用的な文書の作成に関する知識と技術について理解する。			知識 技術	定期考査等
					課題やレポート
				授業での活動	
	思考 判断 表現	定期考査等			
		課題やレポート			
	主体的に 学習に取り 組む態度	定期考査等			
		課題やレポート			
		授業での活動			
		振り返りシート等			
第3学期	観点別 評価	知識・技術 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評価 規 準	・ワープロの基本的な機能を利用してさまざまな文書が作成でき、ワープロの機能などを理解している。	・さまざまな文書を適切に選択し、基本的な文書の作成ができる。	・ワープロを利用した文書の作成に興味を持ち、基本的な文書の作成に取り組もうとしている。	

※「◎」特に重視する観点

令和 7 年度 年間学習指導計画及び評価規準

学年	1 年	学科	商業科	類型			
教科	商業	科目	簿記	単位	4	必修 選択	必修
使用教科書	「高校簿記」 (実教出版)		補助教材等	最新段階式 簿記検定問題集 (実教出版)			
科目の目標	商業の見方・考え方を養い、実践的・体験的な学習活動を通して、取引の記録と財務諸表の作成に必要な資質・能力を育成する。						
観点別評価	観点	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
	重点	◎	○	○			
	評価規準	簿記について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけている。	取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に対応する力を身につけている。	企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養おうとしている。			
期間	学習指導計画 (学習内容とそのねらい)			観点別評価			
				観 点	評価の手段		
第 1 学期 中間 考查まで	○第 1 編 簿記の基礎			知識 技術	定期考查等 課題やレポート 振り返りシート等		
	第 1 章 簿記の基礎 ・簿記の学習の意義や内容、目的について理解する。 第 2 章 資産・負債・純資産と貸借対照表 ・資産、負債、純資産の意味を明らかにし相互関係を理解する。 第 3 章 収益・費用と損益計算書 ・収益、費用の意味、損益法を理解する。 第 4 章 取引と勘定 ・勘定口座の形式を明らかにする。 第 5 章 仕訳と転記 ・仕訳の意味を明らかにし、各種取引の仕訳に習熟させる。 第 6 章 仕訳帳と総勘定元帳 ・仕訳帳の形式、記入法を理解させ、記帳に習熟させる。				思考 判断 表現	定期考查等 課題やレポート 授業での活動	
				主体的に 学習に取り 組む態度		授業での活動 課題やレポート 振り返りシート等	
第 1 学期 期末 考查まで	第 7 章 試算表 ・試算表の役割、種類、それぞれの特徴などを明らかにし、その作り方に習熟させる。 第 8 章 精算表 ・精算表から複式簿記の仕組みを理解させる。 第 9 章 決算 ・決算の意味、必要性、重要性について理解させる				知識 ・ 技術	定期考查等 課題やレポート 振り返りシート等	
	○第 2 編 取引の記帳 (その 1)			思考 判断 表現		定期考查等 課題やレポート 授業での活動	
	第 10 章 現金・預金などの取引 ・現金に関する記帳方法と現金出納帳の記帳方法について理解させる 第 11 章 商品売買の取引 ・分記法の復習から 3 分法による商品売買の記帳方法を理解させる。				主体的に 学習に取り 組む態度	授業での活動 課題やレポート 振り返りシート等	
第 1 学期	観点別 評価	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
	評価規準	◎	○	○			
		・仕訳の手順を理解している。 ・資産、負債、純資産の種類、貸借対照表の構造や役割、財産法の仕組みを理解している。 ・収益、費用の種類、損益計算書の構造や役割、損益法の仕組みを理解している。	・転記について適切に判断し、正確に行うことができる。 ・仕訳帳、総勘定元帳への記帳を適切に判断し、正確に行うことができる。 ・精算表の作成方法について思考し、適切に作成できる。	・貸借平均の原理について関心を示し、把握しようとしている。 ・企業の取引を帳簿に記入することに関心を示し、記録を正確に行おうとしている。			

期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）			観点別評価		
				観 点	評価の手段	
第2学期 中間 考查まで	第12章 掛け取引 ・掛け取引の意味を明らかにし、売掛金勘定と買掛金勘定の記帳方法を理解させる。 第13章 手形の取引 ・手形の仕組みと記帳方法を理解する。 第14章 その他の債権・債務の取引 ・各種の債権、債務の記帳を学ぶ。 第15章 固定資産の取引 ・固定資産の意味と種類を明らかにし、固定資産に関する記帳方法を理解させる。 第16章 個人企業の資本 個人企業における資本の元入れ、引き出しなどの記帳方法を理解させる。 第17章 販売費と一般管理費、税金の取引 ・個人企業に課せられる税金と消費税の記帳方法を理解させる。	知識 技術	定期考査等	課題やレポート	振り返りシート等	
			思考 判断 表現	定期考査等	課題やレポート	授業での活動
				主体的に 学習に取り 組む態度	授業での活動	課題やレポート
第2学期 期末 考查まで	○第3編 決算（その1） 第18章 決算整理（その1） ・決算整理の意味とその必要性を理解させる。 第23章 会計ソフトウェアの活用 ・会計ソフトウェアの活用について学ぶ 第19章 8桁精算表 ・8桁精算表の意味を明らかにし、その作成に習熟させる。 第20章 帳簿決算 ・決算の流れを学習し、損益計算書と貸借対照表の作成方法を理解させる。 ○第4編 会計帳簿と帳簿組織 第21章 会計帳簿 ・いままで学んだ帳簿の種類をあげ、分類させてみる。 第22章 伝票の利用 ・3伝票を用いた場合の起票や集計方法のルールを理解する。	知識 ・ 技術			定期考査等	課題やレポート
			思考 判断 表現		定期考査等	課題やレポート
				主体的に 学習に取り 組む態度	授業での活動	課題やレポート
第2学期	観点別 評価	知識・技術 ◎			思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○
	評価 規 準	・資産、負債、純資産、収益、費用や貸借対照表、損益計算書について関心を示し、決算整理に結びつかせることができる。	・固定資産の取引について、その記帳に関して、自ら考えを深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけている。		・決算整理が企業の経営成績にどのような影響を与えるのに関心をもち、自ら考えようとしている。 ・作成した会計帳簿や貸借対照表と損益計算書からビジネスの諸活動を把握しようとしている。	
学年 末 考查まで	○第5編 取引の記帳（その2） 第24章 特殊な手形の取引 ・手形の裏書譲渡、割引、書き換え、不渡りの意味を理解させる。 第25章 有価証券の有無 ・有価証券の意味と記帳方法を理解させる。 第26章 本支店会計 ・支店会計の独立の意味を理解させる。 第27章 最近の実務に広がる取引 ・クレジット売掛金と電子記録債権・電子記録債務の意味を明らかにし理解させる。 ○第6編 決算（その2） 第28章 決算整理（その2） ・費用、収益の繰り延べ、見越しの意味を理解させる。 第29章 株式会社の取引と財務諸表 ・株式会社の設立と株式の発行時の記帳方法を理解させる。	知識 技術	定期考査等	課題やレポート	振り返りシート等	
			思考 判断 表現	定期考査等	課題やレポート	授業での活動
				主体的に 学習に取り 組む態度	授業での活動	課題やレポート
第3学期	観点別 評価	知識・技術 ◎			思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○
	評価 規 準	・資産、負債、純資産、収益、費用や貸借対照表、損益計算書について関心を示し、本支店会計に結びつかせることができる。	・クレジット売掛金と電子記録債権・電子記録債務に関する記帳に自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけている。		・最近の実務に広がる取引に関心を高め、日常生活で行っている商取引について、どのような仕訳で表すか自ら進んで調べようとしている。	

※「◎」特に重視する観点